

会社概要

会社名	沖繩セルラー電話株式会社
設立	1991年6月1日
事業内容	電気通信事業
本社	沖縄県那覇市松山1丁目2番1号
資本金	1,414,581千円

役員

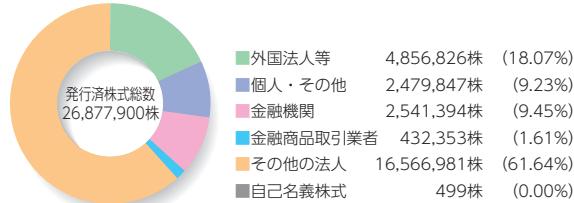
代表取締役社長	菅 隆 志
代表取締役専務	山 森 誠 司
取締役	渡 具 知 武 之
取締役	國 吉 博 樹
取締役(社外)	小 禄 邦 男
取締役(社外)	阿 波 連 光 肇
取締役(社外)	大 城 孝 司
取締役	東 海 林 崇 智
常勤監査役(社外)	三 井 安 里 昌 利
監査役(社外)	嘉 手 苅 義 男
監査役(社外)	金 城 棟 啓

株式状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
K D D I 株 式 会 社	14,086,000	52.40
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	881,300	3.27
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	673,100	2.50
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	608,800	2.26
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR : FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	525,000	1.95
株 式 会 社 沖 繩 銀 行	472,000	1.75
沖 繩 電 力 株 式 会 社	472,000	1.75
琉 球 放 送 株 式 会 社	472,000	1.75
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	279,400	1.03
オリオンビール株式会社	236,000	0.87

※持株比率は、自己株式(499株)を控除して算定しております。また、自己株式には役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託が所有する当社株式(44,094株)を含んでおりません。

株式分布状況



※2021年5月18日付で実施した自己株式の消却により、発行済株式総数は464,100株減少しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日における最終の株主名簿に記載された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当金受領株主確定日	取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日における最終の株主名簿に記載された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
公告の方法	当社公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。 https://okinawa-cellular.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

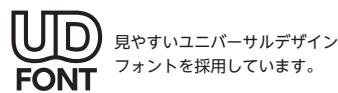
株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場

お知らせ

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ

〒900-8540 沖縄県那覇市松山1丁目2番1号
沖繩セルラー電話株式会社 総務部
https://okinawa-cellular.jp/



おかげさまで30周年、ありがとうございます。

すべては沖縄のために

1991年、沖縄セルラー誕生。県民の声をつないで30年。
私たちは今、通信の力を、新しい暮らしの力へとつないでいます。
もっと近くに。もっと未来へ。

沖繩セルラー



第31期 中間株主通信

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)



証券コード: 9436 沖繩セルラー電話株式会社



代表取締役社長

高 隆 志

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、本年6月に創業30周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆さまをはじめ、ステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社の営業区域である沖縄県経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による社会経済活動の停滞が長期化し、先行きの不透明な状況が続いておりますが、ワクチン接種等の効果による新型コロナウイルス感染者数減少や医療提供体制の拡充等により社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなど回復が期待されます。

当社を取り巻く情報通信市場は、新規通信事業者の参入や各社によるサービス・料金プランの多様化、電気通信事業法の改正等により競争が激化しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、新しい生活様式へと移行する中、当社の事業環境も大きく変化しております。

そのような事業環境のもと、モバイルサービス、FTTHサービスなど主力の通信事業は顧客基盤を順調に伸ばしており、2019年11月に開始した「auでんき」などのライフデザインサービスにおいても契約件数は増加し、収益拡大を牽引する事業へと成長しております。

今後も事業環境の大きな変化が予想されますが、グループの総力を結集し、経営目標（増収・増益・連続増配の3増、配当性向40%超）の達成を目指すことにより、企業価値を高めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■当中間期の当社事業概況について

当中間期の決算は、営業収益が前年同期比**2.6%増**の**359億51百万円**、営業利益が**20.9%増**の**94億21百万円**となり、**増収増益**となりました。

主力の通信事業におきましては、**モバイル総契約数**が前年同期比**0.9%増**の**74万2,800契約**、**FTTH累計回線数**が**4.7%増**の**11万2,400回線**となりました。非通信事業におきましても、「auでんき」の**契約件数**が**69.2%増**の**6万6,000件**となり、各事業とも順調に顧客基盤を拡大しております。

2022年3月期通期業績予想

営業収益	70,000 百万円	進捗率 51.4%
営業利益	14,250 百万円	進捗率 66.1%
経常利益	14,300 百万円	進捗率 66.2%

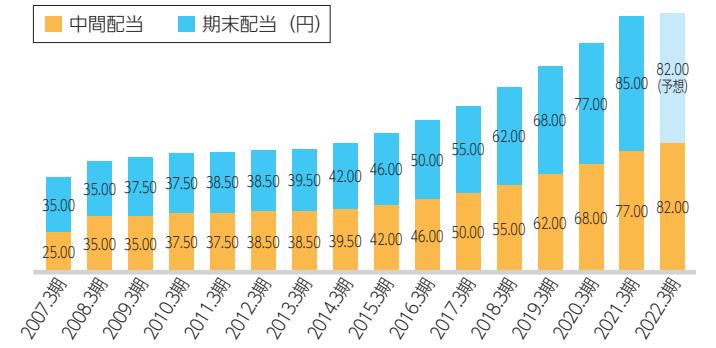
■株主還元について

当社は株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題と位置づけております。

今期の1株当たりの配当金は**164円(前期比2円増)**で**21期連続の増配**を予想しており、中間配当においては**前年同期比5円増の82円**の配当を実施いたしました。

今後も成長の果実を株主の皆さまへ積極的に還元する姿勢に変わりはなく、**配当性向40%超かつ増配の継続**を目指してまいります。

■1株当たり配当金の推移



当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識しており、今後の事業展開に備えるための内部留保や財務体質の強化を勘案しつつ、安定配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

(注) 1. 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施（配当据え置き）しております。
2. 2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。
3. 2021年3月期期末配当85円には、記念配当5円を含んでおります。

■中長期の事業方針、戦略、見通しについて

当社は、2021年3月にトッピングで自由に選べる新料金ブランド「povo(ポヴォ)」の提供を開始し、さらに既存ブランド「au」「UQ mobile」の料金改定を実施いたしました。「au」「UQ mobile」「povo」3ブランドを通じ、多種多様なお客さまニーズに沿った通信サービスの提供を行うマルチブランド戦略を推進し、更なるシェア拡大を図ってまいります。

また、本年11月にはIoT、ICTを活用する、データセンター併設型シェアオフィスビル「沖縄セルラーフォレストビル」を竣工し、DX(デジタルトランスフォーメーション)化の需要を取り込みつつ、収益化を加速してまいります。

今後も、通信事業、非通信事業、そして新規事業の各分野においてバランス良く経営を行い、『株主の皆さま、お客さま、従業員、社会』などのステークホルダーへの責務を果たし企業価値の最大化に取り組んでまいります。

業績についての詳細はこちらをご覧ください

➔ <https://okinawa-cellular.jp/ir/finance/highlight/>

都市型データセンター「沖縄セルラー フォレストビル」誕生

本年11月美しい琉球王国を代表する景勝地としても知られた旭橋に「沖縄セルラー フォレストビル」が竣工いたしました。「沖縄セルラー フォレストビル」は、ビジネスの中心地として抜群のロケーションに、信頼性の高いファシリティ、高品質ネットワーク、厳重なセキュリティ、最高水準の耐害性を備えた都市型のデータセンターです。お客さまの財産を災害リスクフリーな施設内に設置することで、確実なBCP対応を実現し、最大限にビジネスをサポートします。

都市型データセンター6つのポイント

抜群のロケーション

ゆいレール旭橋駅から徒歩2分。県庁、中心ビジネス街、空港、那覇バスターミナルへもアクセス良好。保守担当者の迅速なかけつけが可能。

高品質・大容量ネットワーク

沖縄唯一、本土向け東西海底線ルートを利用した災害に強いネットワーク。KDDI、OTNet回線を利用しコネクティビティも良く、高品質・大容量ネットワークを提供。

最高水準の耐害性

震度6強クラスの地震でも建物を無被害に留めることができる免震構造を採用。万全な浸水対策や窒素ガス消火設備を配備。

高信頼のファシリティ

異なる2つの変電所からの本線、予備線高圧2系統受電やN+1構成の電源設備を完備。自然エネルギーを活用したN+1構成の空調設備で、安全性と省エネルギー化を両立。

厳重なセキュリティ

監視カメラ、生体認証装置、共連れ防止装置をはじめとした厳重なセキュリティ。24時間365日の有人監視を実施。

オフィスフロアとの共存

5~12階のオフィスフロアとデータセンターの接続が可能。重要なサーバー、ネットワーク機器は高信頼のファシリティ、厳重なセキュリティを完備したデータセンターへ設置可能。



連結財務ハイライトサマリー

営業収益

35,951 百万円

前年同期比
2.6%増



親会社株主に帰属する 当期純利益

6,493 百万円

前年同期比
19.0%増



営業利益

9,421 百万円

前年同期比
20.9%増



1株当たり中間配当金

82.00 円

前年同期比
5.00円増



(注) 新基準：「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、前年同期比の増減については、旧基準である前年同期と比較した数値を記載しております。

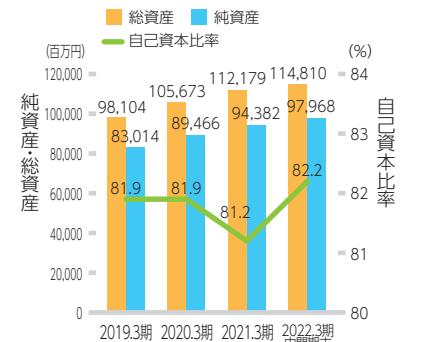
営業収益・営業利益率



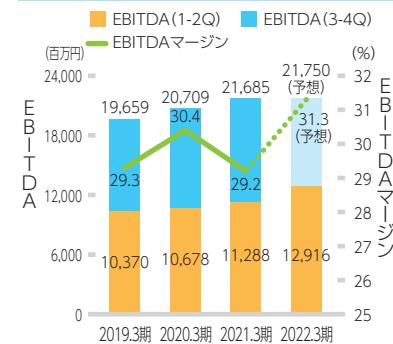
経常利益



総資産/純資産/自己資本比率



EBITDA・EBITDAマージン



設備投資の状況 (竣工ベース)



ROE/ROA



モバイルサービス

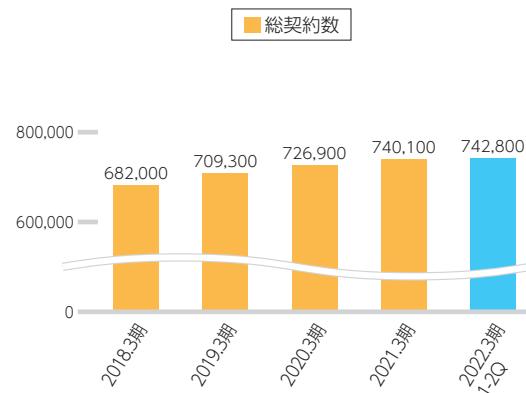
当中間期は、ネットワーク品質の向上などお客さま重視のサービスに取り組んだ結果、前年同期と比較して総契約数が6,800回線増加(0.9%増)し、当中間期末では742,800契約となりました。

【サービスデータの状況】

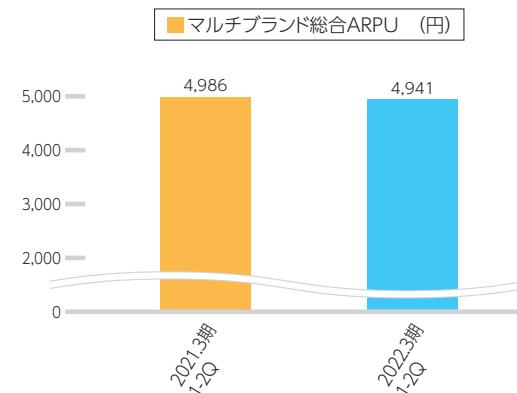
au UQ mobile povo	前年同期比較			
	2021.3期 1-2Q実績 (A)	2022.3期 1-2Q実績 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増数	9,100	2,600	-6,500	-71.4%
総契約数	736,000	742,800	+6,800	+0.9%
端末販売台数 (台)	90,200	82,400	-7,800	-8.6%
マルチブランド総合ARPU (円)	4,986	4,941	-45	-0.9%
マルチブランド通信ARPU	4,363	4,260	-103	-2.4%
マルチブランド付加価値ARPU	623	681	+58	+9.3%

(注) 1. 端末の出荷台数である端末販売台数に変更しております。端末販売台数は通信モジュールサービスを除いております。
 2. 純増数、総契約数及び端末販売数は百契約未満を四捨五入して表示しております。増減は端数処理後の数値を記載しております。
 3. ARPU (Average Revenue Per Unit) : 1契約あたりの月間平均収入。
 マルチブランド通信ARPU : 音声ARPU + データARPU + 割引適用額
 マルチブランド付加価値ARPU : 自社・協業サービス + 決済手数料 + 広告 + 補償サービス

■総契約数の推移



■マルチブランド総合ARPU



FTTHサービス

当中間期は、前年同期と比較して累計回線数が5,000回線増加(4.7%増)し、当中間期末で112,400回線となりました。2010年3月サービス開始より現在に至るまで契約回線数は順調に伸びています。

【サービスデータの状況】

auひかり ちゅら ひかりゆいまーる	前年同期比較			
	2021.3期 1-2Q実績(A)	2022.3期 1-2Q実績(B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増回線数	4,600	2,900	-1,700	-37.0%
累計回線数	107,400	112,400	+5,000	+4.7%

* 前連結会計年度まで記載しておりました「ARPU」については、変動が軽微であるため記載しておりません。
 (注) 1. 純増回線数及び累計回線数は、百回線未満を四捨五入して表示しております。
 2. 純増回線数と累計回線数は、auひかりちゅら、auひかりちゅらビジネス及びひかりゆいまーるの合計を記載しております。
 3. 増減については、端数処理後の数値を記載しております。

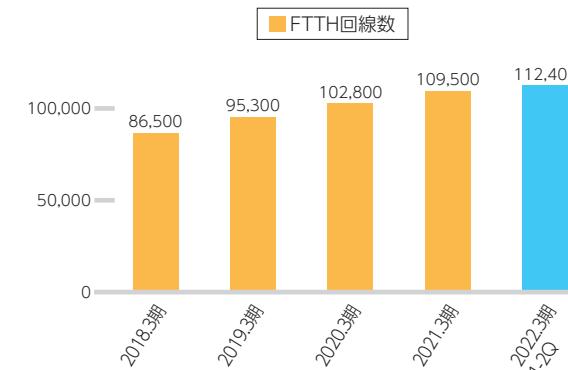
ライフデザインサービス

2019年11月19日から沖縄電力株式会社の供給エリア(一部離島を除く)において、同社の電気事業と当社の通信サービス等を組み合わせた「auでんき」の提供を開始しました。

auでんき	前年同期比較			
	2021.3期 1-2Q実績(A)	2022.3期 1-2Q実績(B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増件数	20,600	11,900	-8,700	-42.2%
契約件数	39,000	66,000	+27,000	+69.2%

(注) 1. 純増件数及び契約件数は、auでんきの契約数を記載しております。
 2. 純増件数及び契約件数は百契約未満を四捨五入して表示しており、増減は端数処理後の数値を記載しております。

■FTTH累計回線数の推移



■ライフデザイン契約件数の推移

